

第2回第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会 議事要点録

日時 …… 令和元年6月27日(木) 14:45～16:45

場所 …… 市役所506会議室

出席者 …… 委員14名(欠席2名)、事務局2名

配布資料

- ・資料1: 第1回第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会議事要点録
- ・資料2: 平成30年度読書調査要点まとめ(不読率について)
- ・資料3: 平成30年度読書調査結果(小学生)
- ・資料4: 平成30年度読書調査結果(中学生)
- ・未来に向けた学びと育ちの基本構想(第3次日野市学校教育基本構想)
- ・日野市立図書館障害者サービス利用案内
- ・日野市の子育て情報冊子「知っ得ハンドブック2019」

1. 開会

- ・前回欠席委員の自己紹介

2. 第1回第4次日野市子ども読書活動推進計画策定委員会議事要点録について

- ・修正の有無、図書館ホームページでの公開の確認

3. 議題

(1) (乳幼児)の「第4次計画」取組検討

○検討の手法

- ・資料1および「第3次計画の成果と課題」を踏まえ、各取組を「継続」「拡充」「新規」「廃止」の4つの方向性に仕分ける。なお、図書館の取り組みについては他部署との連携となる部分のみをこの場で取り上げる。
- ・本日欠席または委員の所属していない部署については、事務局が丁寧に聞き取り計画に反映させるものとする。

[乳幼児期の読書活動推進]

【健康課】の取組

- ・「健診時での保育士による絵本の読み聞かせ、図書館利用案内、絵本リストの配布」は継続する。
- ・子どもの読書活動推進には、保護者や大人の読書活動推進も必要ではないか。ママパパクラスでは、大人向けの本のリストも配布してはどうか。
- ・より広く情報を提供するためには、希望者のみ参加のママパパクラスだけではなく、母子手帳交付の機会を活用してはどうか。

【児童館】の取組

- ・これまでも保護者による読み聞かせ等、各館が地域とのつながりを図る事業を行ってきたが、更に地域力を活かす事業を展開し継続する。

【保育園】の取組

- ・生活の中で自然に本と触れ合える環境がある。ボランティアによるおはなし会、近隣図書館の利用も継続する。
- ・保育士の自主研修グループで、各園1冊ずつおすすめ絵本を挙げた絵本リストを作成している。家庭内で、絵本よりも映像なより刺激の強いメディアを子どもに与えることが増えている現状で、保護者への読書啓発としたい。

[乳幼児期の読書活動推進のための諸条件の整備]

【図書館】の取組

- ・図書館ホームページをリニューアルし、こども向けページを新設した。今後、保護者向けの絵本紹介ページを充実させ、地域のボランティア団体との連携情報も掲載していく。

【保育園】の取組

- ・読み聞かせにボランティアの方が入ることにより、保育士は子どもたちが聞いている様子を客観的にみることができ、保育士の研修の機会ともなっている。継続する。

【発達支援課】の取組

- ・第3次計画の取組を継続する。
- ・前回話題となった図書館の絵本パックを、エールのイベントにて貸出を試行してみる。
- ・新規の取組として、図書館への来館を困難と感じている保護者のために、エールという慣れた場、職員がフォローできる場で本が借りられるよう、ひまわり号にエールへ来てもらうことを図書館と調整している。
- ・図書館や旭が丘地区センターでのボランティアの活動等、地域の多様な活動を知り、保護者への広報や、エールでの活動に活かしていきたい。
- ・待合スペースは団体貸出を利用して本の入れ替えを行う。

【健康課】の取組

- ・特別な支援を必要とする乳幼児とその保護者への読書相談及び資料の収集と提供については、図書館の利用案内や絵本リストの配布などを通して、間接的に支援していく方法がとれるのではないかと。

【幼稚園】の取組

- ・絵本コーナー、本棚などの環境の見直し、古くなっている絵本の入れ替え、紙芝居の活用を行っていきたい。

○【乳幼児期の読書活動推進】全体について

- ・今後【乳幼児期の読書活動推進】では、特にボランティアの活動が重要となってくるのではないかと。

- ・図書の充実については、例えばフードバンクのように、図書館が呼びかけて各家庭等の不要な図書を集めて必要な施設に配布してはどうか。

→現在、図書館や保育園等では図書の寄贈をいただくが、図書の状態や、内容の古さなど利用できない本が多い。処分の問題もある。担い手となる団体など仕組みができれば可能かもしれない。

(2) 〈小中学生の読書活動推進〉の「第3次計画」検証

- ・小学校2年生頃、絵本から読み物に移行していく段階で躓いている子どもが多く見受けられる。読書のほかに娯楽がいっぱいある現状で、昔は絵本から読み物への階段を自然に上がっていたが、今はとても難しい状況だ。周囲の大人のサポートが必要と思われる。
- ・子どもたちには「良い本」「豊かな本」を選ぶ力をつけてもらいたい。
- ・幼稚園小学校教育研究会（幼小教研）図書館部では小学校17校中11校の先生が参加しており、各学校の読書活動について情報共有ができています。
- ・第3次計画策定時には行っていなかったが、幼稚園・小学校・中学校合同で年10回幼小教研図書館部としての研修、年2回合同教育研究会を実施している。
- ・学校図書館に専任の学校司書がいることで、教員に時間が無くてできなかったこともできるようになり、充実していこうとの期待がある。
- ・学校図書館の本は古いものが多い。図書館から配本されている「本の森学級文庫」は新しく、子どもたちが読みたくなる本がとても多く、よく利用されている。
- ・読み聞かせは人の話を聞く姿勢も身に付くように思う。
- ・読書週間では、小中学校ともに教員による読み聞かせ等、様々な取組を行っている。
- ・朝読書の後は、気持ちが落ち着いた状態で授業に入れる。
- ・図書館事業である「中学生と作家の交流事業」には、毎年参加したいという子どもがいるのだが、部活動等で多忙のため参加できず残念である。
- ・「中学生と作家の交流事業」では、図書委員などの中学生が主体的に参加し、読書の楽しさを周囲に伝え、学校をこえて交流することにもつながっている。
- ・中学生では本をたくさん読む子と全く読まない子の差が激しい。
- ・読書のきっかけとして、ライトノベルやマンガ等も学校図書館で所蔵しているが、そこから発展せずそればかりになってしまわないだろうかと憂慮している。
- ・図書館のヤングスタッフによる本の紹介は、中学生にとって年の近い人からの紹介として親近感があり生徒たちは毎回楽しんでいる。

6. その他（次回日程について）

- ・第3回策定委員会

令和元年9月27日（金）14時45分～16時45分 日野市役所506会議室

7. 閉会